

学級通信を発行して

—— 週刊『更科日記』まとめ ——

## 学級通信を発行して

—— 週刊『更科日記』まとめ ——

筑波大学附属駒場中・高等学校 数学科  
更科元子

### 学級通信 『更科日記』

2002年度初めて中学の担任を持った。高校の担任経験はあったが、中学生は初めてである。どうやって学級作りをするか、生徒との距離をどう考えたらよいのか、いろいろ策を練ったとき、そのうちのひとつとして小学校でお馴染みの学級通信であった。中学校になると小学校と違い、担任も教科担当の一人でもあるという立場となつて生徒との距離が違ってくるといふこともあり、学級単位の通信というのは一般的に減る。中高生の時期に学級単位の通信が必要かどうか、指導に効果があるのかという点は不明であったが、とりあえず3年間発行してみようと入学式前に決めた。今回は2002年4月から2005年3月まで、本校56期中学生の1クラスを対象に発行した学級通信について述べる。

キーワード：学級通信 (Class communication)

### 1. はじめに

大学生時代の教育実習で、教育現場にスタッフとしてかかわることの面白さに圧倒され教員になった。しかし短期の見習いでなく専任教員として教室に立ってみれば、現実の授業や指導は自分のイメージと違い、公式や法則が成り立たず困惑することばかり。そんな時先輩の教員から「高校でも学級通信を出してごらんよ楽しいよ」言われ、試行錯誤で通信を始めた。以降高校クラス担任すると学級通信を出している。

### 2. なぜ学級通信か

私が学級通信を出す理由は次のようなものだ。

- ① 50分のLHRの形がとりやすい
- ② 必要な事務連絡を確実に伝えられる
- ③ 欠席者に指導しやすい
- ④ クラスの生徒の全員に毎日声をかけるのは難しいので紙上でおとなしい子や頑張った子にスポットを当てる
- ⑤ 家庭で親子の会話のきっかけにしてもらう

この他、自分が口べたでうまく気持ちを口から伝えられないという点もある。中高のLHRは行事の企画

話し合いや進路調査などに使われることが多く、大変忙しい。ものごとをじっくり考える時間に当てることはなかなかできない。担任と生徒とは授業や部活動や掃除を通じて常に身近に接しており、個人的にはいろいろな話ができる。特別な指導で説教をする場合は個人面談や親子面談もする。が、担任がクラス全体にじっくり話しをし、気持ちを伝えるようなチャンスはなかなかないのである。そこが文章ならば伝えたいことを吟味して、思い切り表現できる。この利点は大きい。

もう一つ言うと、実は文章をかく事で自分の頭の中を整理したい。するとわざわざプリントして生徒の時間や耳を借りなくてもよく、メモや日記でも書けばと言われそうであるから、最近話題をズバリ『更科日記』にしている。この題は結構気に入ってしまい、今回も3年間使い続け、中1『更科日記(1~39)』、中2『新更科日記(1~36)』、中3『更科日記Ⅲ(1~35)』とした。

④については、行事の優秀者や名前の由来などで氏名を載せるようにした。高校で初めて担任したとき、最初の学級通信で名前を発表された子が入院中の祖父に見せに行ったという逸話がある。入学直後の不安な時期に自分の名前が活字になったのが嬉しかったようだ。私も「そんなに嬉しいならできるだけ大勢名前を

印刷しよう」と張り切ってアンケートだの書評だのアイデアを練った。当時は学校の配布物や授業のプリントがまだ手書き主流で、名前が活字になるのが目新しいことであった。現在ではパソコンが普及し生徒自身も自分で活字の文を作成しているのだから、名前が活字になって印刷されるだけで喜ぶことはない。しかし、成績や数字に評価される活動だけでなく、いろいろ面から生徒の良さを探し、紹介していきたいものである。

また⑤については、はじめは意識していなかったが「更科日記が来ると話のきっかけになるからありがたい」という声が出て、なるほどと思った。中高生になると、おしゃべりが減り、学校の様子は家庭まで伝わらないことが多い。私の学級通信は保護者向けのものとしてスタートしたわけではなかったが、家庭の話題にしてもらえるのなら、と保護者の目も意識したものになっていった。場合によっては生徒からだけでなく保護者からの投稿もあり、伝言板の役割もはたしたようだ。

更に、私自身にとっては、授業やHR指導に取り組むための精神的エネルギー補給といった面がある。毎回、今週は何を書こうかと考えるのはなかなか楽しい。教室に教分いれば何かある。内容が何も無いということは生徒を見ていないということだと考え、何か探しに行く。2005年3月の最終号には次のような文を載せている。

では、こんなとりとめのない文を週1回書くのが楽しいかという、これは結構はまるのである。何を書こうかなあと考えるとき、教室内や新聞や本から何か探す。いや、はじめからネタは隠れていないか、という目で物事を見る。目からうろこが落ちるようなことがあれば書き付ける。そして、そんなこんなで駄文がたまってくる。書き付けたものを誰にも見せなくてもそれは別にいいのだけれど、月曜HRに刷ってもっていくと読んでもらえる。家庭に持ち帰って食卓の話のタネにしてもらえる。実に幸せなことだ。

(3B通信35(2005年3/22最終号)より)

### 3. 学級通信の内容

#### 3.1 形式

私の学級通信はB4一枚、月曜日発行という形式を固持した。ネタが多い週は裏面まで使ったり、紹介したいアンケート回答が莫大な場合は特別号として冊子形式も用いたが、あくまで原則はB4一枚で中を山折りして配布した。

発行日を固定したのが実は大事な点で、発行人からも読者からも次回の発行予定日がわかれば、抜かさずに読み続けてもらえるだろうと考えた。ネタがたまったら不定期で、あるいは週2号でも3号でも可能な限り、というはずばらな私の性格に合わない。質に差があっても決まった発行日に決まった形で定期便を作成する方が続けることができるだろう。長期休みや試験などで月曜日にLHRがない場合は合併号にした。

生徒からは、月曜日になれば「先生、更科日記は」と催促の声があった。更に家庭でも「月曜日には、更科日記は配布されたはず」という会話が多々あったようで、発行日を明確にする効果はあったようだ。最終号でのアンケートで「更科日記の発行日を知っていましたか」に対しては、ほぼ全員が「知っていた」と回答した。

学級通信をいつ作成するのかといえば、作成のための決まった時間はとらずに、タイトルや日程、事務連絡などを前号発刊後すぐに入れておき、あとは思いついたときに加筆していく方式をとった。何か思いついたときに先であれば、携帯メールでパソコンに送っておく方法も使った。校外学習指導中などは、青森や飯綱山山頂からメモを学校の教官室に送った。また、生徒の書評メモや新聞記事など話題になりそうなものは机のビニールカバーの下に貯めて置いた。大抵月曜の朝には9割以上完成しており、最後に月曜日の午前中に行われる担任会で連絡などを吹き出しや裏に入れて完成とした。

殆どがワープロだが、仕上げに手書きの吹き出しやお知らせが入ったり、生徒の手書きの原稿が入ったりした。

#### 3.2 編集方針

内容は、今週のカレンダー+掃除当番と週直+事務連絡+担任からのメッセージが基本で、ときどき生徒のアンケート調査や行事の結果をのせた。タイトルは毎回字体を変え、さまざまなデザインのものをつけた。

カレンダーにはその週の学校内の行事や臨時時間割などをのせる。これが自分の仕事メモにもなるが、生徒に「さあ今週も張り切っていこうぜ」というメッセージを送る気持ちで作り、毎回音読で確認した。

週のあるのは自分の行動が明確になり次行程を考えられるので、親子でとても助かりました。週単位の学級通信は大変なことだと思います。3年間の本になりそうな内容の重みに頭が下がります。ありがとうございました。クラスのお友達の一言も、この時代

の子供達の思いが伝わり、とてもよかったです。特に週の予定については息子に聞いてもわからないことが多く、「更科日記」がなければどうなっていたとか… どうもありがとうございました。

(2005年3月保護者アンケートより)

掃除当番と週直のコーナーは毎週順番に更新していくだけだが、これだけで1年間に誰でも数回は名前が印刷されるし、さぼり防止の効果も期待できる。

担任のメッセージ欄は毎回自由に書いていたが、大抵はテストや行事の激励だったり、新聞記事の感想だったり、自分の思い出話だったり。必ずしも指導に適した内容ばかりではなく、ただの雑談というものもあったが、ここは自由に語らせてもらった。

基本的に「説教は口で」を心がけ、嫌なことは書かないようにした。「どうして君たちはこうなの」という問いかけならまだしも、ここが悪いといった説教が書かれた学級通信なんておそらく誰も取っておかないだろう。保存どころか読まずにゴミ箱直行かもしれない。実際に高校の担任を初めて持った頃、説教が多い学級通信を連発してしまい、教室のゴミ箱に捨てられてしまうのを空しくながめたことがあった。それが続けばもう廃刊は確実だ。どんなに一生懸命作成しても生徒が読まない学級通信では意味がない。だから、学級通信だけ見た人は、まあほめてばかりで何と優しい担任よと思うかもしれないが、説教や文句は毎日口で言っているのである。むしろ、担任の口から音として生徒の耳に入るものは、嬉しい言葉より嫌な言葉の方が多くらいなのだ。口から出る生の言葉で伝えられない説教など印刷しても効果はないと私は考える。学級通信ではめる方を分担してバランスをとっているのだから、記念に保存したプリントには良い言葉だけが残るわけだ。

何のための学級通信か。それは人によって違うけれど、更科個人に関しては、殆ど担任の楽しみであった。忘れっぽいから事務連絡は入れているが、それもこれで大丈夫というような完璧なメモではない、むしろ場所うめ。内容で決めていたのは、説教や気分の悪い話は口だけにしておかないということ。保護者会などではたびたび、「これでクラスがわかるとは思わないでください、いやな事は文字にして残しませんから」とお願いしてきた。

(3B通信35(3/22最終号)より)

また、事務連絡として座席表や委員一覧、試験の時間割、行事の進行などは必ず載せた。

音楽祭 詳細決定

曲目『翼を下さい』

パートリーダー ○○、○○、…

(1B通信5より)

また、頑張った生徒の紹介や成果もできるだけとりあげた。

環境地図入賞おめでとう!!文化祭出展!

優良賞 ○○君『自宅周辺の粉塵調査』

努力賞 ○○君『ゴミ捨て場とカラス対策マップ』

(1B通信23より)

体育祭 ミニサッカー 1勝1敗

C組戦ではハットトリックが!しかしAは強かった。

キーパーが手を使えないとは(1B通信22より)

運動部などの結果については通常の集会で表彰されるので、学級通信では取り上げなかった。しかし部活の良い成績だけ発表というのではなく、部活紹介のように各部からメッセージをもらおうとよいなあと考え、それは学期ごとの学年通信(冊子)のほうで特集した。

### 3.3 生徒からの声をのせる

生徒からのものを載せたいと考え、たびたび企画を練った。しかし生の声を大切にしたいと思っても、なかには学級に公開するつもりで書いていないものもあり、作文紹介などはあくまで抜粋・匿名とした。記名して全員発表するものは先に予告してから書いてもらった。

#### ●全員アンケート

これは新学期の抱負や夏休みの一言報告など、全員のものを名前入りで表などにのせる。生徒も段々B6の小さい紙が配られると「ああ、更科日記に載るんでしょ」とわかるようになり、クラスに発表したいことや受けをねらうようなことを工夫して楽しむようになった。また生徒のかいたものが個人面談の際の資料にもなっていた。

氏名	夏休みコメント・2学期抱負
〇〇	野球、苫小牧の優勝
	期末頑張る
	メリハリをつける
	遅刻しない
	朝早く起きる
	中2に部をまかせる
	音楽部演奏会
	文化祭頑張る
	文化祭最優秀賞
	よくノートを取り、授業を聞く
	体育祭・文化祭を頑張ること
	健康管理、文化祭
	じっくり調整
	体育祭頑張ろう
	100m16秒以内に毎回入る

(3B通信NO. 16 9/6号)

●行事の計画・まとめ

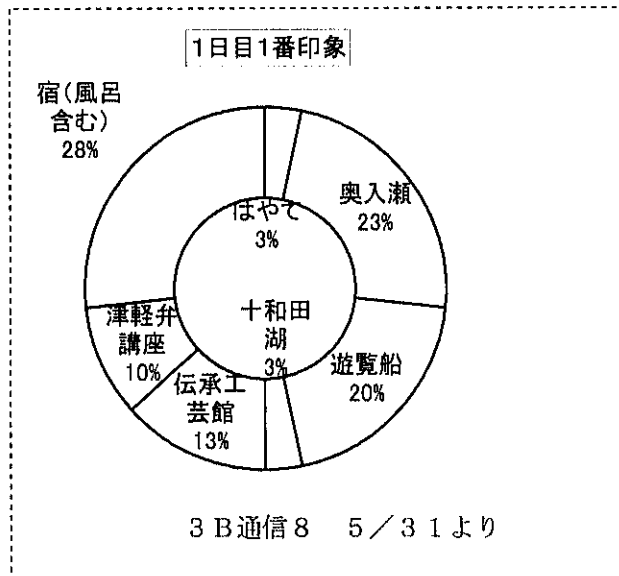
音楽祭・体育祭・文化祭・弁論大会の4大行事と校外学習は本校生徒にとって実に大切な行事である。あまり特別活動が得意でないタイプの生徒であっても「特になし」「別に」といったコメントは殆どない。しかし、不満や反省、非難などを書いてくる場合もあったため無記名で発表することが多かった。無記名で載せると本人は「あ、僕のだ」と大声で言ったり、「誰だこれ」などと盛り上がったり、意外に好評であった。

2004年 文化祭クラス劇『検察官』を終えて  
 ・一日中デコのことを考えていた。全てを出し切ったと思う。これから部活に集中できる。  
 ・割と立て看頑張ったので立て看大賞嬉しいです  
 ・校長役頑張った  
 ・当日7回もの公演をよく頑張った。最後の公演の方は時々セリフをミスって焦ったが、自分でも驚くくらい冷静にアドリブで乗り切れて妙に嬉しかった  
 ・照明頑張った  
 ・華やかな役じゃなかったけど客を笑わせられたのがよかった。裏方の仕事ミスが多くてすみません。  
 ・美術。外装がうまくできた。大衆賞が一番嬉しい  
 ・まあ、俺のおかげ?  
 ・当日は仕事できなかったが準備では割とよく頑張れたと思う

・よくやった。1回もミスしなかった。音響の人に手伝ってもらって感謝  
 ・うちわ作りが地味に疲れた  
 ・美術を積極的にやった  
 (3B通信NO. 25 (11/29号))

更に家庭では「これそうでしょ」等会話になったそうで、次のようなコメントが保護者からあった。大変なお手間でしたと思いますが、だんだん学校のことを話さなくなってくる年頃ですから、先生が書いて下さることで学校の様子、そして学校での子供達の様子もわかり嬉しかったです。行事ごとに子供の感想を載せて下さり、その中から自分の子供のものを探すのも楽しみでした。殆ど当たりました！子供に「何でわかるの？」って言われました。自分の子ですから…ネ  
 (2005年3月 保護者アンケートより)

いつも同じ自由記述では飽きるので、工夫してグラフにしてみるなどするとこれも面白かった。



● 芸術鑑賞や講演会のまとめ

地域研究に関連した学年講演会や防災訓練、演劇鑑賞会などの後は、ひとことずつコメントを回収するようにした。

・自分ならばどうなってしまうだろうと考えてしまった。  
 ・以前本で阪神大震災の被害にあった人の話を聞いたことがあったが、実際に生で聞くのは初めてだった。アナウンサーとして冷静に状況判断できた住田さんの落ち着きには感心した。東京で大震災があったとき、僕はどこで何をしているか分からないが、

冷静ではいられないと思う。

・これだけ人が死んでいるのに、自分が生きていることが紙一重に思える。

(3B通信16 防災訓練感想集)

登場人物人気投票など、単純に演目を2度楽しむというコーナーもときどき登場した。

### ● 作文紹介

入学以来、何かと作文用紙を配り、まとめを文字にすることを要求してきた。途中で「またか」と飽きてしまい意欲的に取り組めない生徒もいたが、中には張り切って「今回は自分でこう分析する」とまとめが好きになり上達する子もいた。これも原則的には匿名で抜粋を紹介した。ときには担任がコメントを付けてLHRの話題にした。

・ぼくは筑駒に入学したとき友人関係においてとても不安でした。(中略)最終的に新しく友達を作ることが苦手な僕も数日で友達は数人できたのですが、やっぱり積極的に自分から話していかないと、これからの社会で苦勞するのかなあと思いました。

(始めはみんな不安です。心を開くのは怖いもの。友人関係で傷つくこともあるかもしれない。でも得るものは大きい。私も昔は内気な少女でした。誰だ!うそだと言う奴は!)

・ラッシュが疲れる原因は2つあると思う。ひとつは動きにくくぎゅうぎゅうで暑いからだ。もうひとつは、押されて嫌な気分になり、自分が加害者だと言うことを忘れることだ。

(これはすごい!素晴らしい視点です。みんなラッシュのひどさを自己紹介時に言っていました。自分も押している一員かもしれないね)

(2002年度 入学直後の作文紹介より)

・中2になって一番変わったことは、なにかと中1に聞かれることだと思う。部活、体育祭、文化祭…などなど、中1に頼られる場合が多くなった。そんな時にしっかりと答えられたり先輩として引っ張っていくことができるかが、いい中2生なのだと思う。でも今年は、部活では先輩としてまとめられたが他ではあまり…。これから中3になるので、もっと下級生をまとめて引っ張っていけたらいいなあ…と思う。責任感を持って行動していきたいなあー

・あつという間の1年間だった。全体的には充実して過ごせたと思う。学習面では苦手科目がはっきり

してきたので、中3に向けてもう一回復習していきたい。また、公民など新しい科目も増えるので頑張りたいと思う。部活では中1の指導をしなければならず大変だった。またフォームを直していかなければならずきつかった。中2で、中1で見つからなかった課題が多く出てきたので、中3で達成できるように頑張りたい。

・今まで先輩に頼っていたが、これからリーダーとしてやっていかなければいけないと思う。

・要するに振り返ってみると、大分だれていた1年だったと思う。3年になったら下の学年を引っ張っていけるように積極的にいきたい。

・2年前、この学校に入学して数ヶ月で「この学校は変な人が多い」という印象を持ったが、今はさらにそれを実感している。僕もカードはよくやるが、あいつらには驚いた。

(2003年春 中3になって)

### ● 読書調査

行事の谷間や長期休業前には、読書調査を行った。せっかく高校入試がない分読書をしようと口でいっても、「何を読めばよいですか」と聞きに来る生徒がいる。「何でもいいじゃないの、好きなもん探せば」と思うが、中学時代は、児童書だけでなく一般書が読めるようになる時期で、あまりに多くの書物の中から何をチョイスすべきかわからないといった声があるのだ。そこで友人と情報を交換しようと言う作戦である。「僕はこんな本読めたんだぞ」という自慢でもよい。読書感想文というと面倒だが、ごく小さな紙に一言書評ということなら、生徒も喜んでかく。

名前 ○○

本の題名『天の瞳』

友達から紹介されてこの本を読み始めました。倫太郎という少年の幼稚園時代から中学生時代までを書いた物語文です。その間に起こったいろいろな出来事が倫太郎を成長させて行きます。『幼年編』『少年編』『青年編』と分かれているのでとても読みやすいと思います。みなさんも是非読んでみて下さい。

(2002年 読書調査 より)

### ● 留学報告

夏休みにオーストラリアやアメリカに留学した生徒が複数いたので、彼らには自由に報告を書いてもらった。

### ● 将来の夢 など

学期末は毎回各自に部活・委員会、長所・短所、得意科目・苦手科目、塾について、睡眠時間など通知票や指導要録の参考資料を記入してもらい、無記名で話題にした。

#### 【将来の夢】

たくさんの発明／超人か宇宙関係かプログラマー／科学者／裁判官／政治家／国会議員／趣味として生物を（孫に草取りを教える）／弁護士／英語をどうにかする／サッカーの審判の資格をとる／NGO／123歳まで生きる／飛行機とか車とか作りたい／人の命にかかわる仕事をしたい／棋力向上  
(1B通信37より)

### 3.4 家庭にも参加してもらう

#### ● 行事アンケート

中1の音楽祭・体育祭・文化祭では保護者の参観率が大変高く、注目度も高かったので、保護者アンケートを行った。回答率も高かったが、回答のコメントの分量は膨大で、とても通常の学級通信では紹介しきれず、別冊として冊子にして配布した。手書きのものをパソコンに打ち込むのは大変だったが、コメントを読むのは興味深いものがあった。

#### ● 保護者アンケート

保護者会などの際「親ばかコーナーをやります」などと宣言してコメントを募集し、余裕のあるときに載せた。これは親子の伝言板になった。

・ 弟の事で、良い相談相手になってくれる事があります。

・ ムカムカマークの毎日です。プンプン！！

#### ● 名前の由来

中1の『更科日記』には「今週のお誕生日」というコーナーがあり、ただ名前と誕生日を発表し「おめでとう」と書いて読みあげた。

中2の『新更科日記』ではこれをふくらませて、各家庭から出生時の誕生時刻・身長・体重・名前の由来・エピソードを出してもらい、年間企画『名前の由来』コーナーを作った。締め切りは生徒の誕生日付近ということで依頼したところ、全家庭が快く参加して下さり面白い連載になった。本人の検閲が入った家庭もあったようだ。名前の由来に納得した

り、出生体重に驚いたり、配布時に本人をからかったりと楽しませてもらった。

〇〇 5月9日午後9:06、  
52.5cm、3458g

【名前の由来】外国人でも発音しやすい音ということで友達のフランス人と一緒に決めたが、アメリカ人から発音しにくいといわれた。

(2B通信4より)

#### ● 花草会

これは中3の時に保護者の方から投稿があつて数回登場したコーナーである。回数は少なかったが、保護者同士の伝言板の役割ができた。

### 3.5 他の教員や教育実習生より

#### ● 先生に聞きましたコーナー

学期ごとの学年通信では教科担当の教員に原稿を依頼して編集したが、学級通信は普段の教員同士の会話の中から、クラスへの評価やメッセージをのせた。

S先生に聞きました

・ 2Bはどうですか

集中力が50分持たない子がいる！が他は割と良い。図書室で探してごらんと言ったらすぐに何人か行ったようだ。

・ 今の生徒について

抽象的に粘り強く考えることが大切。論理的思考力を育てよう。また言葉の仕組みを知ろう。例えば、「しかし」と「ただし」の違いは大丈夫かな

・ 読書については

ハリーポッターのようなファンタジーやストーリーを追う読書がまだ多い模様

・ 古典について

劇画的な古事記からやっている。ワビサビなんてまだ本当にはわからないだろうが、大人になって「あああれは、こういうことだったのか、やっとわかった」というのもよい。それが勉強なのかもしれない。

(2B通信11 2003/6/23より)

#### ● 教育実習生にも投稿を依頼する

大学附属の特徴として、多くの教育実習生に接するが、いつも学級通信に原稿を依頼した。大抵は自己紹介やメッセージをよせてくれて、クラスとの橋渡しになったようだ。自分自身が教育実習で教員希望に変貌した経験があるので、実習生にも生徒との距離を縮め、実習期間を楽しんでもらいたかった。

#### 林日記

何でもそうですが特に数学においては「無知の知」(知らないと言うことを知っている=自分がまだわかっていない部分、知らない部分がはっきりしている)がとても大切です。もしつまづくことがあったら「無知の知」までがんばれ。そうすればあとは何とかできます。あ、何かえらそう、ハズカシイ…

(2002年度前期実習生 林さん)

Hola Amigos! Me llamo Maria Mariko Amagi Umeyama. Mucho gusto!! (私の名前は天城梅山マリア万里子です!どうぞよろしく!!更科日記を借りてパラグアイのことをお話ししたいと思います。

(2002年度後期実習生 天城さん)

#### ● 暑中見舞い・年賀状紹介

年賀状などはがきからは、生徒作のイラストやおもしろいコメントは匿名で使わせてもらった。

くそ暑い体育館で部活をしています。これからバスケの合宿があり、また辛くなります。しかし今年は宿題が少なくどうにかかなりそうです、なんちゃって。冷たいものを食べ過ぎないように気を付けてください。久しぶりに筆記用具を使って字が汚いです。

(3B通信15 9/1より)

クラスの生徒のものだけでなく、以前の教え子の近況報告なども掲載した。卒業の時期に進路指導というだけでなく、折に触れて社会や職業についての話に触れてくることが大切だと考え、雑談の中で取り上げることがよくあった。

あけましておめでとうございます。東京消防庁に入って3年がたちました。学校の頃は正直大変で、もう駄目だとばかり思っていたんですが、今は元気に福生消防署熊川出張所に勤務しています。いつか消防の話をゆっくり先生にしたいです。【昔の教え子】

(1B通信33より)

## 4. 学級通信「更科日記」の成果と今後の課題

### 4.1 保護者通信『こまばの』

これは中1のクラスで、数回冊子形式で発行された保護者通信である。PTAの編集委員を中心に家庭から自由に投稿を募り、ボリュームのある冊子ができた。あくまで保護者主体のものであり学級通信とは別の存在であるが、『更科日記』に応え

てという面があったそうだ。このようなお返しをもらったことは初めてで、大変感激した。小学校と違い各自の自宅が離れている中学において、このような企画は情報交換や親睦に有効であると思った。

### 4.2 自分の指導に関して

学級通信で仕事のメモを作っていたと前述したが、更にネタ探しで生徒の良いところをいろいろ発見できたと思っている。この点が今回の学級通信の最大の成果だと考える。

しかし、楽しい通信に徹してしまい、クラスで問題が持ち上がったときや中だるみの雰囲気に対する指導に、もっと学級通信を活用できなかったのかという反省が残っている。説教は載せないという編集方針としても、問題提起や深刻な語りかけはできたのかもしれない。むしろ、そういった場合の真摯な真面目な姿勢を、言葉を選んでじっくり伝える媒介としての学級通信というものも可能だろう。今後と課題としたい。

#### 【参考文献】

1. 秦敏子『学級通信と学級集団作り』  
(1990) 明石書店
2. 月刊高校生編集部『ホームルーム作り百科』  
(1990) 高校出版
3. 龍岡真紀『るんるん真紀のHR担任日記』  
(1989) 文教書院
4. 向山洋一  
『学級集団形成の法則と実践—学級通信アチャラー』  
(1986) 明治図書
5. 鈴木俊則  
『高校生を愛するとは—HRづくり入門—』  
(1992) 大月書店
6. 岩佐教之  
『学年・学級だより12ヶ月』  
(1988) 黎明書房



来週は 妙高だ

1B通信 No.7 S/13号

今週の週面は 藤崎・廣井 挿絵は5・6班

5月、毎朝筑駒らしいコーラスが聞こえてくるさわやかな季節になりました。9日の保護者会でのご家庭からのコメントからは、自宅の様子やお弁当作りの話が出て、朝の風景が目に見えようでした。

また、勉強面での不安も聞かれました。「全然勉強しない」「みんな優秀のようで不安」など。筑駒は中間テストがありません。テストが少ないから楽と喜んでいる新入生がよくいますが、それは逆です。生活ルールと同様に、これもまた中学生にはきついシステム。ここではテストが近いから勉強しようという安易な姿勢では通用しません。

毎日の授業の内容においても、先生方はかなりのレベルの要求をしますが、それは君らを信頼し期待しているから。宿題がある科目もない科目も、自分でしっかり押さえていかなければいけません。宿題がない科目は、自分で自分の宿題を作るように。また、授業で習うことが全部と思っはいけないよ。授業の時間はとても短いもの。その先は自分で本を探し、調べ、考える、これが当たり前。もしその自分でやった部分が心配なら、レポートにして先生に見て頂こう。また、毎日の勉強計画が立たない人は、家庭用時間割を作ろう。

私が中高生の頃、ある有名な地理の先生がいたのですが、その先生の授業ときたら、1年間ずっと世界地理をやって、授業で取り上げた国はたった2つ。タイとキューバだけ。これはどういうことか？「あっそうか！授業で方法を教えたのだから、その他の国については自分でやれという意味だ」と気付いたとき、私はその先生に授業の受け方を教わったと思いました。

また、英語では中1の時に兄に「教科書巻末の単語リストは使うな」と言われ、新品の教科書の単語意味一覧のページを切り取った覚えがあります。これは知らない単語は必ず辞書で自分で調べよという意味。お蔭で英和辞典をひくのは得意になりました。ちなみにこの兄は君らと同じ中1の時に鈴木文子先生に英語を教わり、今では私と違い英語がペラペラです。(私が文子先生に出会ったのも中1の時、もちろん何年前かは聞いてはいけません)

【今週の予定】

13	月	生徒総会
14	火	内科検診、音楽祭クラス練習 3:10 音楽室
15	水	
16	木	音楽祭クラス練習 3:10 旧中園
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	校外学習出発前日

音楽祭の正規の練習(音楽調整分)は計8回だけ。これを有効に生かすためには、各パート練習が大抵、パートリーダー (S橋本、A矢吹、T牧原、B古川) 定しく観みます。

今週の十三歳 十五日小杉亮人君 十九日橋本慎也君

おめでとう!

みんなの日記コーナー

名前 庄司 昂祐  
父の指導でテニスの練習を始めた。硬式テニス部に入っているため、もうテニスの腕を上げたいと思っからですが、合計時間が練習できなかったため、大きな進歩はあはなかった。しかし、まだ機会はあるので練習をつんで、技術を上げたいと思います。

名前 和田 直樹  
日曜日に、母の東家に行きました。いとこが家に来ていたので、いっしょに遊びました。夜はみんなで食べに行きました。楽しかったです。

名前 岩崎 優  
5/5に横浜のテーマン博物館に行き、ゲームを遊ぶよとEものの2時間も待たなくてはならぬいぼと混んびいたので近くの店で昼飯をすませて帰って来ました。だいたい3時7時だ。

名前 土屋 翼  
入試に成功しPS2を買ってもらったので、友達とゲーム三昧でした。

名前 斎藤 俊太郎  
麻布の文化祭に行つて、おがネをこわした。

名前 伊藤 宏泰  
5月5日、お父さんと、台場探検に行つた。新橋からゆりかもめに乗つて、お台場海浜公園駅で降りて、警三台場へ行き、テニス乗車へ行つて、フジテレビの前を通つて、昼食を食べて、豊田のジョールームで、お台場をたたく人を見て、インポーアブリッジを歩いておた。た。インポーアブリッジは、あつた。た。た。風が吹いて、きもちよかったです。

名前 土肥 健人  
5月4日(土)、麻布中高の文化祭に小学校の時の友達とついでに行つた。屋台ではやきとりがおいしく、おセロ音もおもしろかった。また、ホラー映画の展示などがわたものもあつた。筑駒の文化祭もかえらう!

2B 通信 週刊  
no.12 6/30号  
**新更科日記**

今週の週直は高橋+角田、  
掃除は教室6特別7です

今週の予定			
30	月	2:30下校	
7/1	火		
2	水	歴史	国語 理1
3	木	地理	幾何
4	金	理2	英語 家庭
5	土		
6	日		
7	月	代数	国須 学活
期末終了・保護者会			

今週はとにかく期末  
テストに全力を！年  
に3回しかないチャ  
ンスである。悔いのな  
いよう一杯行こう

連載：合選の2読コーナー案53

**笠井健太郎** 7月8日午後11:17生まれ 出生時の身長43cm、体重1854g

【名前の由来】

早産低出生体重児で、出生時の状態が良くなく、すぐに新生児センターに搬送されましたので、とにかく元気に育って欲しいという願いのみで名づけました。

【エピソード】

何故か早くから文字に興味を持ち、漸く引き摺られるようになった(持ち上げられないので)『広辞苑』が大のお気に入りでした。ある時は愛読書(?)、ある時は机、ある時は椅子、ある時は踏み台がわりにしていました。小さい小さいと皆さんに言われていましたので、やせて小さい自分に少々気付いていたのでしょうか、名前の健太郎を「すこやかふとろう」と読み替えていました。末は…などと期待する間もなく、幼稚園に通うころには、すでに普通の子でした。

みんなの直後の声より

①2B以外でよかった団体と感想【圧倒的に高3に感動したようですね】

- ・3C3番目のところ、指揮の人にリーダーシップがあった
- ・3の3「さくら」で鳥肌がたった。音もちゃんととれて感動した ・3C?3年の最初、指揮がすごい
- ・3の3よかった。さきゅら〜 ・3の3とても歌詞がはきりしてました ・高3HR
- ・2Aそれぞれのパートの音がよくよかった ・3Cみんな歌にのってうまかった、3の2すごい歌に気持ちというか、情感がこもってすごかった ・3の3だったかな、よかった ・3の2、3の3
- ・高校、特に高3の合唱はすごかった ・高校3年僕たちは連い、ものすごくうまくて感動した
- ・3A空も飛べるはずめっちゃよかった ・3の3声大きい ・高3上手の一音、感動しました
- ・2C歌声がきれいにそろっていて聞き易かった。3の2ライオンキングメドレーはすごかった。3A 中学優勝クラスだけあって強弱がきれいだった ・高3全部すごすぎる ・3の3ハーモニーがきれい
- ・高3全て。声がそれぞれのパートにしっかりそろっていたうえ、声もとても響いてきた。自分たちもいつかこうなりたかった ・2C声がそろっていた。高3筑後川がよかった。最後の声がすごかった
- ・自分としては1A 大衆賞もこれにしました。高3の人達の歌はわけてすごいと思った。4年後にあんなにうまく歌えるようになりたい ・高3は全てよかった。あとマザーグースの歌、上を向いて歩こうもよかったと思う
- ・3の2臨場感があつてとてもよかった。言いたいことが伝わってきた ・2Aと2Cと1C
- ・2A何と書つても練習が真面目だった。サボる人は殆どいなくてすごいと思った。本番は体がみんなゆれていて、うまいと思った。 ・高3の歌がよかった ・「さくら」がすごかった、感動した
- ・3の3歌声が素晴らしい。クラスが一体となって歌っているのが感じられた
- ・「夢の中へ」「秋のピエロ」「親知らず子知らず」「SetDownServant」「ライオンキングメドレー」など
- ・「秋のピエロ」「ライオンキングメドレー」高3の曲はよかった ・タマちゃんを守る会かっこよかった
- ・3の3、3の4本当にゾクとした。昨年の高3よりすごかった。迫力があつた。1の2怪獣のパレードがともよかった。母も同じように思ったらしい。高校の審査の方、的確かつ大胆かつ辛口な評価がすごかった。また一言言うたびに高校生がわあーと声を出しても(あれは失礼だと思う)笑って話を続けていたので「いい人だ」と思った。 ・高3すべて ・高3すごかった ・ない・3Aと1Cがよかった
- ・1の2指揮者がよかった ・高3他の学年よりもはるかに響いていた。驚いた。

②2Bの合唱を歌った感想【満足、後悔、不満、悔しさ、反省、分析…うん、しっかり見つめていこう】

- ・一番始めて緊張した。服装は統一されていてイメージにあっていた。が、自分も含めてあまり曲にのれていなかったと思う。 ・かなり良かったと思う。入賞できなかったのは何かの間違いじゃ…
- ・声が出せているかどうか不安だった。実力は出せたのでは?
- ・風を聴いて、出始めや、歌が一度止んでまた始まるころのズレが目だった。音のずれも目立った。
- ・ビデオで見てみるとわからない ・練習が足りなかった
- ・サイアクとまでは言わんが、かなりダメ。やはりみんなのモチベーションが低すぎ。本番は全く声が出ていなかった。サボるんだったら、けなされないように上手くさばれーと ・思い切り歌った、楽しかった
- ・やっぱり自分の歌が他の人の声と合っていないと思った。歌い終わった時は安心と共に、少しだけ入賞しないかなあという期待があつた。 ・全体的にボツだったらしい、満足感あつた
- ・あまり良くなかったと思う。声が合っていない ・もう少し難しい曲を選んでよかったと思う。やっぱり1番始めに歌うのはきつと思う ・下手の極地 ・歴史的敗北
- ・別に他のクラスが言うほどひどい合唱ではなかったと思う。練習の時よりもよくなっていたような気がした。 ・音が小さい、ずれている、フラッシュがまぶしい
- ・教室で歌っているのと違って大きなホールで歌っていると声小さく感じた
- ・あまり参加していないので面白くなかった。また、自分が下手だった ・最初だったので緊張した
- ・もう少し歌ってれば、まとまりが出てよくなったと思う。でもみんな一生懸命歌ったのでよかったのではないかな ・ソプラノ(テノ1)よかった
- ・クソダメ。練習だってみんなちゃんとやんないんだもん。後悔しまくり。1A出身者なので理想が高いのかもしれない ・個人的には今まで一番よく歌えたと思う。ショック
- ・最後まで指摘されたところを直せなかった。今ひとつ思いきりが足りなかったと思う。小宮先生は「演奏」の「演」は演じることと言っていた。 ・自分なりにには体を動かして歌えたと思う。
- ・自分のパート分は合わせられたと思う ・テノールの声が低い。他のクラスより声の差がない
- ・去年風邪で休んだため、初めてであった。しかしそれほど緊張しなかった。まあまあ練習通り歌えた。
- ・1番だったのであまり緊張していませんでした ・よかった
- ・連曲ミス。声が小さい。音がそろっていない ・大衆賞の結果は残念だった
- ・僕としてはちゃんと歌えてたような気がしたが、皆には下手に聞こえたのだろうか
- ・結構よくできた。自分は少し声小さくなってしまった。 ・まあまあだった
- ・練習不足と言われた。その通りだと思った。かなり声を出したつもりだったが、声が出ていないと言われた
- ・テノール1の声があまりそろっていないような気がする。プログラム1番で緊張した。
- ・1番目なのでみんな緊張しているように感じたが、練習の時よりずっとよかったと思う。そのせいか、終わったあとはみんな嬉しそうに見えた。 ・結構良かったと思うんだけどなあ

私も入賞するかちょっと思いました

③自分の取組み【ここにも多々反省が。頑張れきれない自分、盛り上げられない人は何故?と問いかけよう】

- ・しっかりやったりもったんだがなあ。なんかバスはしっかりやっていたような気がしたんだけど…。テノ1とかバトリオンとかが。ってゆーかみんな真面目にやらないと…終わってからは完全に何も思わない奴はいないだろう。ちょっと悔しさがあるはず。頑張ろう「サザエさん」か「城」 ・朝練少し遅刻した、やっぱり遅刻するとまとまり減るなあ
- ・一応朝練には出ていたけれどやる気はあまりなかった
- ・1回だけ勘違いして朝練を遅れてしまった。その他はまあまあだと思ふ
- ・朝練はつらい、少ししか取り組めない ・バスパートを歌った ・まあまあ
- ・自分と他人の声を合わせようと思死に頑張った。緊張して足がガクガクしたのが頑張れたと思う。
- ・未知という名の舟に乗りは僕が前から歌っていた曲なので頑張れた。パートがあまり合っていないからで、高い音を出しすぎて声を悪くしてしまったが、本番は何か歌えた ・パートリーダーあまり役目を果たせなかった
- ・T1は歌いやすそうでT2は正直難しかった。でも平均的には歌えたと思う。
- ・朝練をずっと遅刻していた。努力が足りない感じがした。指揮者の話をもう少し聞ければよかった
- ・練習ではちゃんと歌ったが、そもそも練習に遅れた。どうも早起きは苦手だ
- ・まー声出せた ・かなり頑張ったつもり。ただクラス全体ではあまり頑張らないクラスだった
- ・自分なりに一杯できたと思ふ ・なかなかよかった ・本番では良く歌えたと思う。
- ・ふつう ・よかった ・もう少し真面目に取り組むよう頑張る ・携帯に音を入れて音をあわせるなど
- ・少し不真面目だった。前回指揮者だったから気がゆるんだ。(いいわけ) ・朝練にきちんと出た
- ・もうちょっと前から本気で頑張っていたら… ・練習された。本番よく歌えた ・よく取り組んだ方である
- ・朝練は全部出席したし、よく取り組んだと思う ・平均的 ・よかった ・7:30への朝練はつらかった
- ・まあまあ、練習には遅れませんでした。やる気はあまりなかった ・平均的 ・よかった
- ・大体練習に出てやっていた ・ピアノがよくできた

各自の頑張りたいという気持ちをクラス全体としてどう盛り上げるか、が行事の課題です。さあ体育祭、文化祭に君はどう取り組むか

週刊

56期2B学級通信

NO. 32 2/9

# 新更科日記

今週の掃除は5・6班。週直は 牧原・益野

2/9	月	水	彦考
10	火		
11	水	休日	
12	木	準備	
13	金	入試のため学校なし	
14	土	休日	
15	日	休日	
16	月		

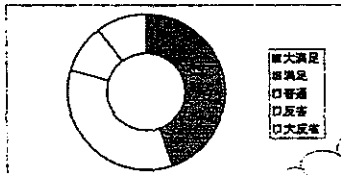
ロードレースのアンケートを8の分だけ集計しました。競むと、タイムに満足  
 一順位が不満という声が多。予想通り厚いペースのレースだったんですね。  
 電車が来て遅くからスタートする生徒が多かったみたい。前回の小杉君のタ  
 イムが違っていました。訂正⇒1位 14:44 深川、2位 14:59 小杉

## ロードレース特集

### ①目標

21分/一生懸命走る/タイム20分切る/16分台/200ぐらい/20分1年のときよりよくなる/18分以  
 内/230位/完走/16分台/18分台/50番ぐらい/40位以内に入る/29分/順位1位目標タイム15:  
 15(500m1:45-1000m3:35-2000m7:25)/22:20/17分台/走りきる/中1のときと同じくらい  
 /19分を切る去年より順位を上げる/20分/17:30/入賞/20分/16:30くらい/17分台/19分ぐら  
 い/20分/16分=15分台/22分台低すぎとイワナイデこれでも必死/17分30秒/18分台順位2桁/19  
 分30秒180番半くらい/21分切る

### ②達成度



目標はそれぞれで「遅いとイワナイ  
 デこれでも必死」というコメント  
 も。そうそう、自分の目標、自分の  
 評価でいいんです。自分の調いと  
 という意味で、勉強や生きることに  
 そのものに通じます。学年集計は次号学  
 年通信に回します。

### ③その理由

あと5秒だった/一生懸命走れなかった/数日前から風邪をひいて走ることができなかった。体調管理が  
 出来ていなかった/頑張ったから/タイムは1分くらい上がったが順位は変わらなかった/17:27でゴール  
 できた/練習時より速くなったが半分ぐらいでばててしまい後半満足いく走りができなかったため/準  
 備運動不足でペース配分ミスか途中で吐いてしまったため/タイムはよかったけど最初飛ばしすぎて最  
 後の方結構抜かれた/自転車で会場に来たので足が少し重かった/目標を達成したから/走りきれた/風  
 邪気味ではあったがもっと走りこんでいればタイムは上がったのではないかと思ひ残念だ。中1のときよ  
 り4分も遅れてしまった/19分を切れたから。去年よりタイムが上がったのに順位が上がらなかったから  
 /19:37で20分を切れたから/いやその…さ16:08で38位だったから…いや去年19分台で190かそ  
 んくらいだったから…最後の最後まで抜けず入賞を逃したから/去年より40秒くらい速くなったが順位は  
 去年と同じだった/18:15で走れたから。思ったより速く走れた/17:47/目標を達成することが出来た  
 /22:27だったんで練習1分も更新(\*/v)でも…/17:10で走れ、昨年より1:30も速くなった。  
 ただ順位が89位だったのでそこが少し残念だった/17分台だったが109位で、もっといけたと思った/4km  
 走で20分を初めて切れた(19:18)のはとても嬉しかったが、それで204位というのはかなりのショック  
 を受けた。よってタイムは満足、順位は反省なので合わせて普通ということ/タイムは思ったより上が  
 ってよかったが順位はむしろ下がった気がする/自己ベストを30秒以上更新したのが目標に5秒届かなか  
 った。最後のスパートのタイミングが遅かった。/タイムが目標よりもよく、14分台が出たので満足。でも  
 「1位を取る」と自分で決めた以上少しは近づきたかった。抜かれた残り1000m位のところでは、残れて  
 遅れてくることは予測していたが、ちょっとふんばれなかった。あきらめて「しょうがない」と思ってし  
 まったのかもしれない。ただ充実はしていた。

### ④走りながら考えたことをひっ

- 考える余裕などなかった
- 歩こう ●あと〇〇mだ
- 頑張るぞ!! ●足がおめ~
- 明日絶復習だ(後のテスト)
- なるべく下を見ないよう視線を上げ気味に ●カードゲームについて
- 行きはみんな遅いと思って頑張ってたけど、どんどん抜かされてビリ集団かと心配に  
 なった。帰りは辛かったのでも考えずに走った ●僕走ってんのアチュピかな
- 途中で呼吸が苦しくなったが、最後まで走りぬこうと思った ●日本ブレイク工業
- 途中でできつくなり歩こうと思ったが、ここで歩くこと走れなくなりそうだったので気合で走った
- 夏科先生「はいご苦労さん」まだあと1500もあるんだよ…しかもビデオ撮りながら
- つれ~。今何分だろ~な~?でもいつもより人を抜かしてるな。後ろの方からスタートしたからだろうな。ま  
 あでも調子はいいぞ~。ぜ~ぜ~は~は~
- 人についていく ●自分の今の順位
- 残りの距離。走る苦しみが続く残り時間
- つかれた。死ぬ~、もう走れない
- なえ~何で走んないか言ひけないんだ~
- 「ふぁいとっだよ」ぎやぎのドラフトについて ●みずずん、だぶるびんら
- 中1の鉄研部員に1人も負けないようにしていた。1CのIが追いついてきたときはペースを上げて引き離し  
 たり、あと2CのTを抜かそうともしていたが、こちらは追いつけなかった
- 今何位なのか?ちょっとみんなペース速くないか?ゴール見えてるのに後1500mかよ
- すぐ近くに野球部の後援者がいて、負けまいとしてかなり必死に走った。が序盤で先に走りすぎて後で送れて結  
 局負け
- 東急の最新型車両が来るまで待つべきか?一持った
- 波谷からどう帰るか?一波谷 新宿一国立  
 武蔵浦和-西国分寺-国立  
 横浜-川崎-立川-国立  
 横浜-東神奈川-八王子-国立  
 大宮-高麗川-八王子-国立

やはり順位が気になっていたんですね、みんな。  
 私は順位を言っておきようと思っていたんだけど、すぐわから  
 なくなっちゃったんで。申し訳ない。「頑張っつ」と言ってたつ  
 もりなんだけどなあ

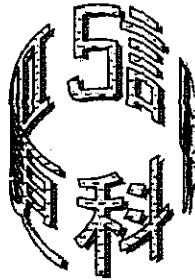
臨場感たっぷりのコメントあり。息が上がり苦しい中、哲学し  
 た人も。言ったフランスの作家ツバイクの小説に、卒業の辛  
 い状況を、頭の中のチェス試合で過ごすものがありました。が、  
 走りながら解けるパズルがあるといひかもね。

私も中学生の頃江戸川で走りました。  
 そのときはお気に入りの曲を頭の中でかけ  
 たんだけど、リズムが合うとばっちり気分  
 ちいいんだ。合わないとも苦しい。  
 譜曲が課題でしたよ。日本ブレイク工業社  
 歌はリズム合う? あと素数探し!これ  
 は解れないときも使えるよ。

これで帰った

### ⑤感想・来年への抱負

風邪をひかないように体調管理をする/20分/当日走る/来年は50位以内/頑張ります/今年より速くなるよ  
 うに/70位くらいに入りたい/よく走る/今年休んだので絶対走る!/今年は17:00で16分台になれなかつ  
 た。16分台を目指して頑張りたいと思う。また今年途中でばててしまったので自分のリズムを見つけて最後ま  
 で満足できる走りをして/早めに練習を積む。今度こそ100番以内!/もっと自分のペースで走れるように/  
 入賞/体力をつける/今年は練習の時は4kmのタイムが上がってなかったので、来年は練習のときからタイ  
 ムを上げていきたい/来年まで走れる体でいたい/今年が18:54で去年より24秒上がったので来年は18:30  
 を切るように努力したい。また今年体育の授業で走っただけだったが来年は体育の授業以外でも走る練習をす  
 るようにしたい/体育の授業時より1分半以上速くなってよかった。来年は18分辺りが目標/とにかく悔しか  
 った。ただ今なにを考へても意味がないと思う。来年は絶対に入賞する。というより優勝を目指す/って遅すぎ  
 だったの/今年今年。来年は来年。もっと上を目指してまた頑張りたい。来年は息巻を鍛えスピードアップ。  
 そして後半にも落ちないようなスタミナと気持ちをつけたい。ストップウォッチをつけて走っただが止めたと  
 きちょうど16:15で感動した/1月に入ってからあんまりトレーニングしなかった気がする。それに当日の体  
 調も万全でなかった。来年は悔いの残らない走りが出るように頑張る。/中1で22:38、中2で19:08なの  
 で単純計算で言えば中3は15:38!何かがどう奇蹟が起こっても無理だと思うので、とりあえず17分あるいは  
 120番を目標にしていきたいと思う。



今来週の週番：野村， 週直：日宮+榎本  
 掃除：4班+5班（状態をみて掃除する）

親睦会，保護者会お疲れさまでした。企画の親ばかコーナー，文化祭コーナー，川柳コーナーは随時連載していきます。また，いつでも受け付けていますので，家でこんないいことがあったとか，いい川柳が浮かんだときは是非メモを下さい。また，卒業アルバムにいい写真がありましたら，是非ご協力下さい（ただし，本人の許可をとって下さいね）。自分のお気に入りの顔のつたアルバムは一生の記念になります。

日	曜	予定
10	金	テスト終了、写真撮影あり
11	土	休み
12	日	休み
13	月	SSH特別講座 午前は50周年，午後は本郷の東工学部 どちらもまだ申し込み可能。午後は1：30 筑駒正門集合
14	火	司法体験プログラム B1~20は全員9：40地裁，午後は選出者だけ13：20地検 B21~40は選出者だけ9：50地検，午後は全員13：00地裁 十分公民の時間に事前学習をしていると思うが，本物の裁判である。 被告および関係者や，場合によっては被害者とその関係者も同席している。ふざけたりすることはないと思うが気をつけて見学。
15	水	10：20登校③体育④理科I 午後SSHシンポジウム『君の命を輝かせるサイエンスリテラシー』 1：00～ 保護者の方も参加可能です
16	木	9：20登校②国語③体育④保健
17	金	9：20登校②体育
18	土	休み
19	日	休み
20	月	11：20登校④体育
21	火	9：20登校②代数③体育④英語
22	水	
23	木	
24	金	終業式・大掃除

土日はをさんだこの4日間特別授業。登校時間に気を付けよう。

どんな人でも自分1回きり

ある勉強会に参加したとき横にいた岡崎先生が「人間どんな人でも自分1回きりしか生きられない」と言った。そうなのだ，どんなにお金持ちでも優秀でもそれは同じこと，自分しか経験できないのだ，そんなことに今頃納得する私も遅いが，若いときはいろんな選択肢があつて，いろいろやれると思つていた。最近，自分ひとりでも経験できることなど，実に少ないことに気づいた。では人生を広げるにはどうしたらいいのか，岡崎先生の続く言葉は「だからそこで他者，友人なんだ」であつた。非常に納得した。その勉強会には，関西の某私学の先生や，受験で有名な某塾の方，外国での教育に取り組んでいる方というんな参加者があり，大変刺激を受けた。

はっきり言つて，1中学生の世界は狭い。気持ちの上でも家庭，学校，人によってお稽古ごとや塾などで大体今のところ取まっている。これを，君等はこれからどう広げていくかが課題だ。以前筑駒の中学生に「あんた，世の中いろんな人がいるんだよ。そんなあんたの理論は通用しないこともあるよ」と言つたら「先生，僕はそんなにいろんな人と出会わないと思う。普通の自分に近い人とししか接しない人生だ」と答えた。この答には絶句してその後考え込んでしまった。彼には悪気はないし勉強意欲ももたないが，いろんな人と出会い，いろんな価値観に触れてみたいという思いはこの時点ではないのであつた。

感心することに，56期の中には新聞執筆者が大勢いる。世界は今どうなっているのか，日本の社会は，政治は，と興味を持っている人も多いようだ。理系だから，文系だからと教科の勉強の壁にまじわれず，何でも自分に関係あるんだという気持ちで臨んで欲しいということは以前1年の授業中に述べた記憶がある。自分には関係ないもん，わからないもんという態度がどういう社会を作るか，考えて欲しいとも言つたつもりだ。特別授業期間中，SSH企画や司法体験などがたくさん予定されているが，それを通して何を考え，何をやるか，56期，中学の終わりをばっちり決めて下さい。すでに最終コーナー。

先日，前の学校の教えず2年次の君のクラスのクラス会があつた。卒業アルバムもクラス会も大抵3年次クラスがメインだが，実は2年のクラスというのは，行事でも部活でも一番頑張つた年で，印象に残るらしい。君は卒業しても何年になるのだろうか。まず，最近電車に乗らないので，踏切がなくなつていて，大井町線三ツ木から蒲田というのは大岡山で目黒線に乗り換えだと思つて踏切も，蒲田行きはない。ああそうだった。目黒線は日線と多摩川線に切れたのであつた。しかたなくホームを歩いてみると表るのは武蔵小杉行き，これは真横線ではないか。多摩川線に乗るために多摩川で乗り換え，なんかえらい遠回りをしてしまった。

さすがに東京急行線住居の古担任が踏切に苦戦してるとは思わなかった。おん幹事は「先生，まだ」と電話をしてくる。こめんごめんと強盗屋に着くと，西と東とははてさていい雰囲気，そうだった。こいつらは当然もう成人しているのであつた。はじめは思ひださずという挨拶をやっていき，高松時代無口だったのに，今に社交的に変わつていた奴，結婚して夫婦で介助もあつていゝ奴，大学病院で看護師・保健師をやっている子，スーツ来て夜歸りの夜の名刺を出したと思ったら家を離れていた奴，。ひとりの話ばかりはきかない。最後に，5年に1回くらいは冷つた年賀状送つてきなさいよ，と書つて別れた。こんなとき，教師つて待たなあと思つて，嫌なやつとも感じけど。